はるかぜ書房の新刊
令和８年 11 月中旬発売

『瑠璃の糧』

著者：紀島愛鈴（キジマ　アイリン）

1976 年（昭和 51 年）栃木県生まれ。その後、神奈川県で育つ。
本名は福地亜紀子。捜真女学校高等学部卒。東邦音楽大学音楽学部ホルン専攻を中退。結婚し、主婦業、パソコンの業務をしながらアーティスト名「愛鈴」で音楽 CD を発売。音楽配信も開始。著書に『あっこちゃんと月の輪』（幻冬舎）『人生なんとかなるもんさ』（セルバ出版）『尋常の黄昏に成る』（つむぎ書房）
などがある。日本文藝家協会会員。

紀島愛鈴の長編スペクタクル小説

仕事に結婚に悩みながら毎日を過ごしていく若い世代の日常を描く。今までにない分量の作品となりました。

読者もその未来が楽しみになってくる。
そんな情景をどこか淡々と描くことで若さの秘める可能性を問う問題作。

ご注文申込書		注文数 冊	はるかぜ書房株式会社
			『瑠璃の糧』 紀島愛鈴著 四六判・並製 278 ページ　定価：1600 円＋税
			ISBN:978-4-909818-56-0 C0093 ¥1600E
	ご注文は JRC へ　FAX:03-3294-2177 TEL:03-5283-2230		

※返品条件付き注文扱い